

T O Y O K N I F E C O . , L T D .



東洋刃物株式會社

**2015年3月期 決算説明会**

**2015年6月8日**

# 目次

1. 2015年3月期 業績概要	.....	2
2. 2016年3月期 業績予想および今後の展望	.....	10
3. ご参考 当社について	.....	18

## 2015年3月期 業績概要

# 2015年3月期 決算概要

単位：百万円

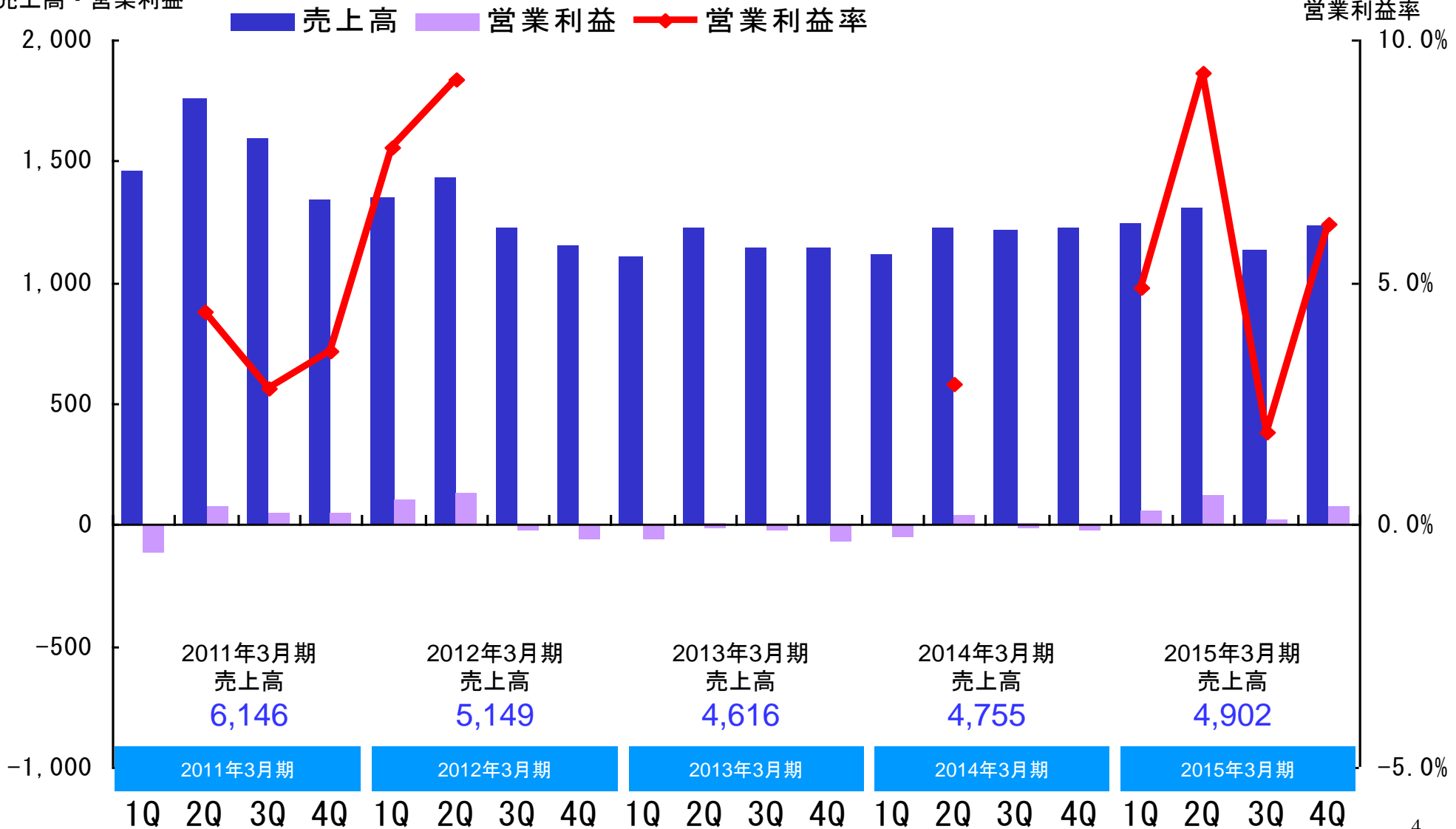
	2014年3月期		2015年3月期				業績予想（2014.10.31修正）			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,755	100.0%	4,902	100.0%	146	3.1%	5,010	100.0%	△108	△2.2%
売上総利益	960	20.2%	1,265	25.8%	304	31.7%	—	—	—	—
販売費及び一般管理費	1,019	21.5%	983	20.1%	△36	△3.6%	—	—	—	—
営業利益	△59	△1.3%	282	5.8%	341	—	245	4.9%	37	15.1%
経常利益	△105	△2.2%	241	4.9%	346	—	195	3.9%	46	23.6%
税金等調整前当期純利益	234	4.9%	241	4.9%	6	2.7%	—	—	—	—
当期純利益	203	4.3%	186	3.8%	△16	△8.3%	155	3.1%	31	20.0%
一株当たり当期純利益(円)	20.39		18.69				15.53			

- ✓主力の情報産業用刃物の伸び悩み、鉄鋼用刃物の減少はあったものの、産業用機械及び部品、その他が好調に推移し、売上高は3.1%増の4,902百万円。
- ✓付加価値の高い品種の売上構成比率の上昇、製造工程における歩留りの改善、経費減等により、282百万円の営業利益。
- ✓純利益は186百万円。（前期は投資有価証券売却益174百万円、固定資産売却益185百万円を特別利益に計上。）

# 四半期業績の推移

単位：百万円

売上高・営業利益



# 2015年3月期 用途別売上高及びセグメント利益

単位：百万円

	2014年3月期			2015年3月期						
	売上高		セグメント利益	売上高				セグメント利益		
	金額	構成比	金額	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	4,326	91.0%	183	4,464	91.1%	138	3.2%	510	326	178.1%
情報産業用	1,199	25.2%		1,180	24.1%	△18	△1.6%			
鉄鋼用	790	16.6%		734	15.0%	△55	△7.1%			
製紙パルプ用	495	10.4%		504	10.3%	9	1.9%			
合板用	261	5.5%		243	5.0%	△18	△7.0%			
製本用	45	0.9%		55	1.1%	9	21.1%			
産業用機械・部品	862	18.1%		951	19.4%	89	10.4%			
その他	674	14.2%		797	16.3%	123	18.3%			
緑化造園	429	9.0%	2	437	8.9%	7	1.8%	21	18	728.0%
合計	4,755	100.0%	186	4,902	100.0%	146	3.1%	532	345	185.7%

※2015年3月期に機械刃物及び機械・部品の内訳の見直しを行い、2014年3月期につきましても同基準にて算出しております。

## ✓機械刃物及び機械・部品

【売上高】・産業用機械・部品は、国内製造業の設備投資が改善基調のなか、特に精密部品が堅調に推移し、10.4%増。

・その他の分類では、装置用部品関連、破碎粉碎刃関連が好調に推移し、18.3%増。

【セグメント利益】売上増、品種構成による付加価値増、経費削減等により、178.1%増。

## ✓緑化造園

【売上高】造園工事は減少したものの、管理業務、法面工事が順調に推移し、1.8%増。

【セグメント利益】工事の進捗率向上に加え、採算性を重視した受注活動により、728.0%増。

# 2015年3月期 地域別売上高

単位：百万円

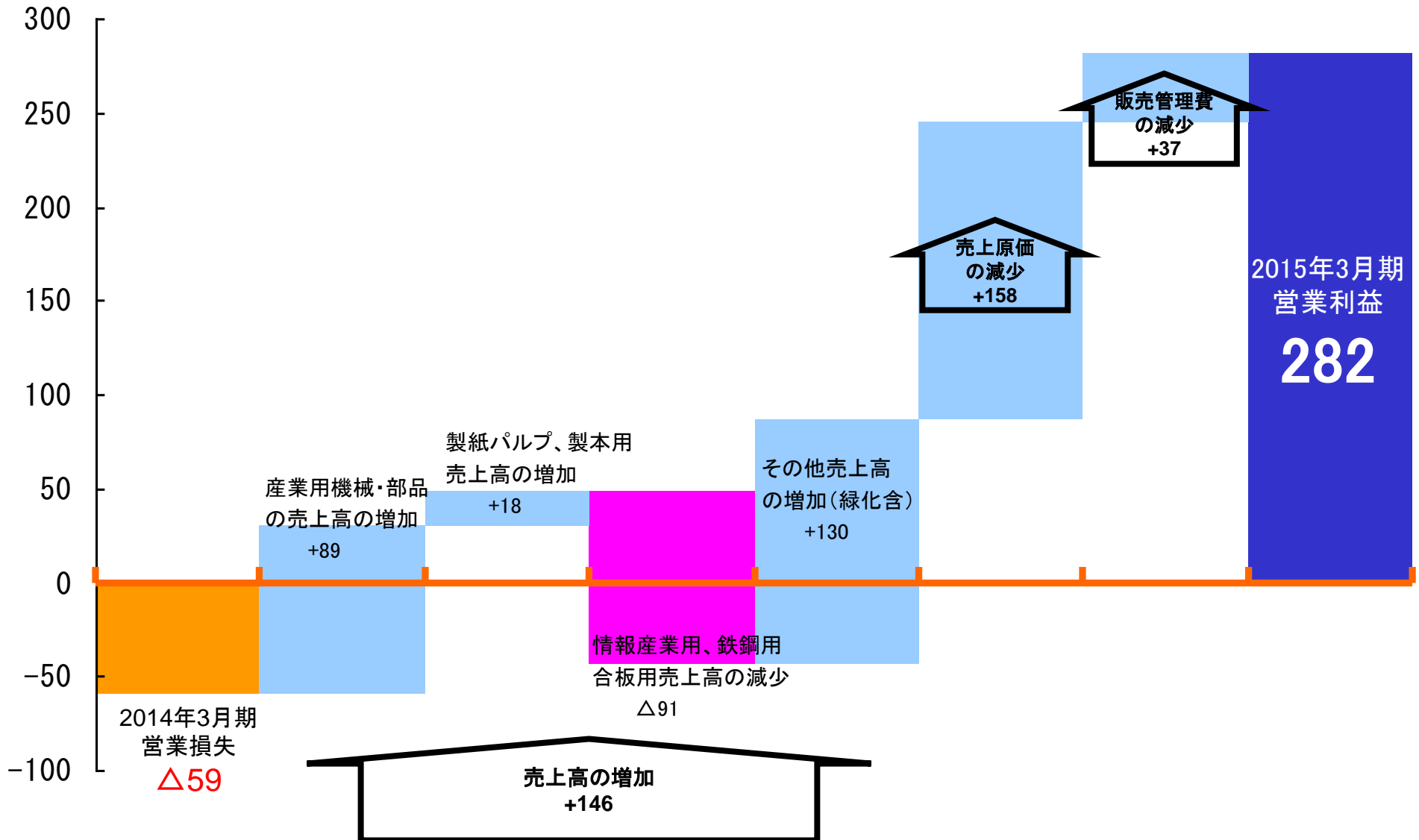
	2014年3月期		2015年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
日本	4,121	86.7%	4,268	87.1%	147	3.6%
除く緑化造園	3,692	77.6%	3,831	78.2%	139	3.8%
海外	634	13.3%	633	12.9%	△1	△0.2%
中国	342	7.2%	285	5.8%	△56	△16.5%
東南アジア	266	5.6%	285	5.8%	19	7.3%
その他	26	0.5%	62	1.3%	36	138.7%
合計	4,755	100%	4,902	100%	146	3.1%

【日本】 情報産業用の伸び悩み、鉄鋼用の減少があったものの、産業用機械・部品及びその他が堅調に推移し売上増加。

【海外】 中国現地販売子会社での合板用が減少するも東南アジア、南米向け産業用機械が貢献。

# 2015年3月期 営業利益（増減要因）分析

単位：百万円





# 2015年3月期 貸借対照表

単位：百万円

	2014年3月期末		2015年3月期末				主な要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
<b>資産の部</b>							
流動資産合計	3,147	59.9%	3,601	63.7%	454	14.4%	
現金及び預金	860	16.4%	1,188	21.0%	327	38.1%	売上増、売掛金回収増
受取手形及び売掛金	1,295	24.6%	1,206	21.3%	△89	△6.9%	
電子記録債権	—	—	278	4.9%	278	—	電子記録債権運用開始
棚卸資産	961	18.3%	898	15.9%	△63	△6.6%	原材料、製品の減少
固定資産合計	2,107	40.1%	2,056	36.3%	△51	△2.4%	
有形固定資産	1,606	30.6%	1,473	26.0%	△133	△8.3%	減価償却による減少
投資有価証券	402	7.6%	477	8.4%	75	18.7%	
資産合計	5,255	100.0%	5,658	100.0%	402	7.7%	
<b>負債の部</b>							
流動負債合計	3,559	67.7%	3,699	65.4%	140	3.9%	
支払手形及び買掛金	530	10.1%	562	9.9%	32	6.1%	原材料、外注費の増加
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	2,768	52.7%	2,771	49.0%	3	0.1%	
固定負債合計	1,129	21.5%	1,100	19.4%	△29	△2.6%	
長期借入金	359	6.8%	185	3.3%	△173	△48.3%	元本の返済
負債合計	4,689	89.2%	4,800	84.8%	110	2.4%	
<b>純資産の部</b>							
資本金	500	9.5%	500	8.8%	—	—	
資本・利益剰余金	146	2.8%	286	5.1%	140	97.0%	当期純利益計上
その他の包括利益累計額	△80	△1.5%	70	1.2%	150	—	
少数株主持分	1	0.0%	1	0.0%	0	9.2%	
純資産合計	566	10.8%	858	15.2%	292	51.6%	
負債及び純資産合計	5,255	100.0%	5,658	100.0%	402	7.7%	

# 2015年3月期 キャッシュフロー（CF）計算書

単位：百万円

	2014年3月期		2015年3月期	
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるCF	288	509	220	76.3%
投資活動によるCF	292	△82	△374	—
（フリーCF）	581	427	△154	△26.6%
財務活動によるCF	△459	△192	266	—
現金及び現金同等物の増減額	154	251	96	62.4%
現金及び現金同等物の期首残高	624	778	154	24.8%
現金・現金同等物の期末残高	778	1030	251	32.3%

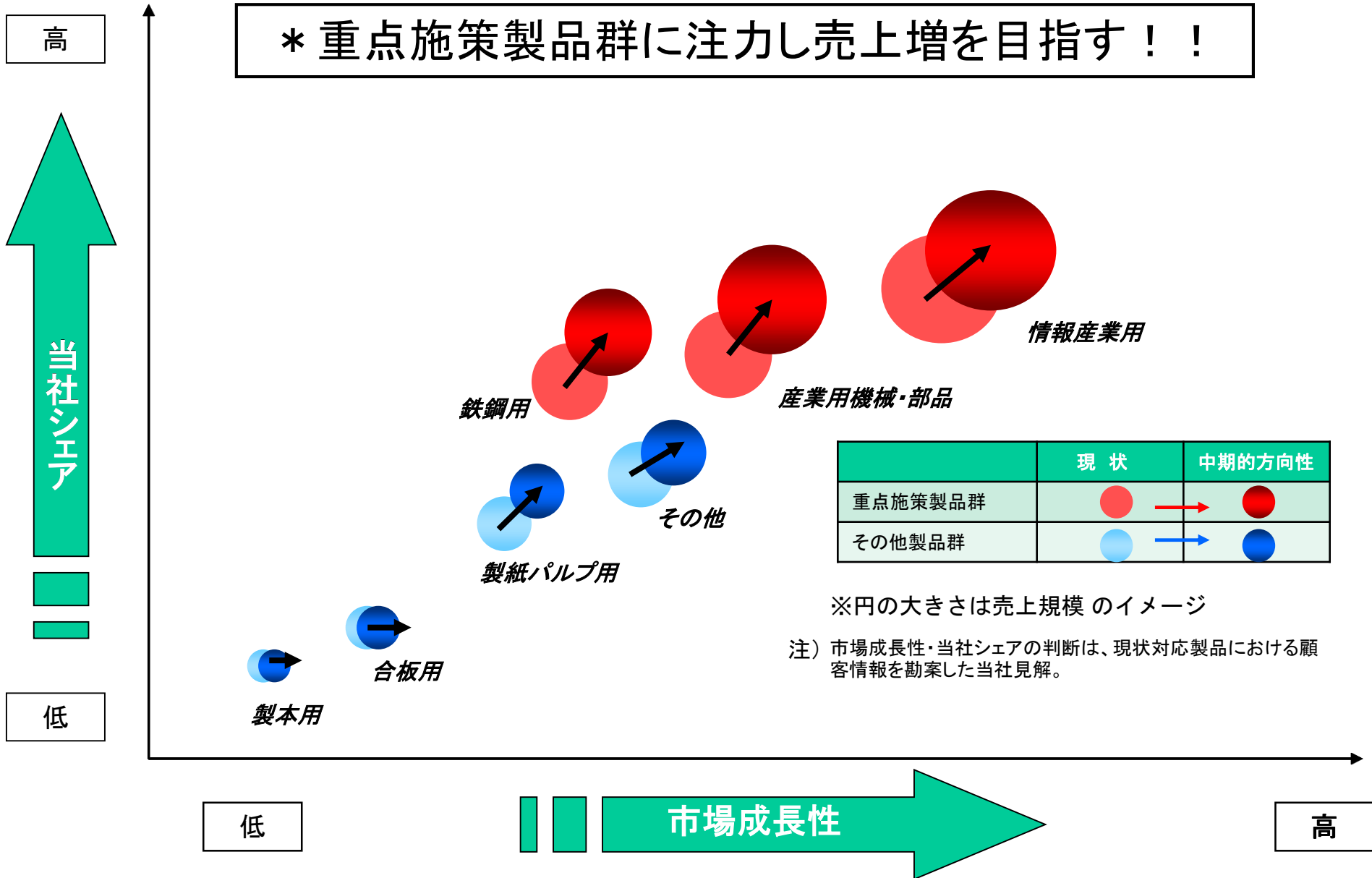
単位：百万円

	2014年3月期		2015年3月期	
	上期	下期	上期	下期
	金額	金額	金額	金額
設備投資	36	37	27	41
減価償却費	137	136	73	127
研究開発費	14	15	11	13

## 2016年3月期 業績予想および今後の展望

# 主要製品の市場性と当社シェアの中期的イメージ

**\* 重点施策製品群に注力し売上増を目指す！！**



## 2016年3月期 業績予想

単位：百万円

	2015年3月期		2016年3月期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,902	100.0%	5,070	100.0%	168	3.4%
営業利益	282	5.8%	180	3.6%	△102	△36.2%
経常利益	241	4.9%	145	2.9%	△96	△39.8%
当期純利益	186	3.8%	120	2.4%	△66	△35.5%
1株当たり当期純利益（円）	18.69		※120.25			

※2015年10月1日予定の株式併合による影響を考慮しております。

- ✓主力の情報産業用の売上確保、鉄鋼用、産業用機械・部品の需要を見込み、増収計画。
- ✓業務改善活動“ライジング東洋プロジェクト2012”の継続取組みによる効率化推進の一方、設備投資、人件費増、輸入を含む仕入製品価格の上昇を勘案し、減益を見込む。

# 2016年3月期 用途別売上高予想

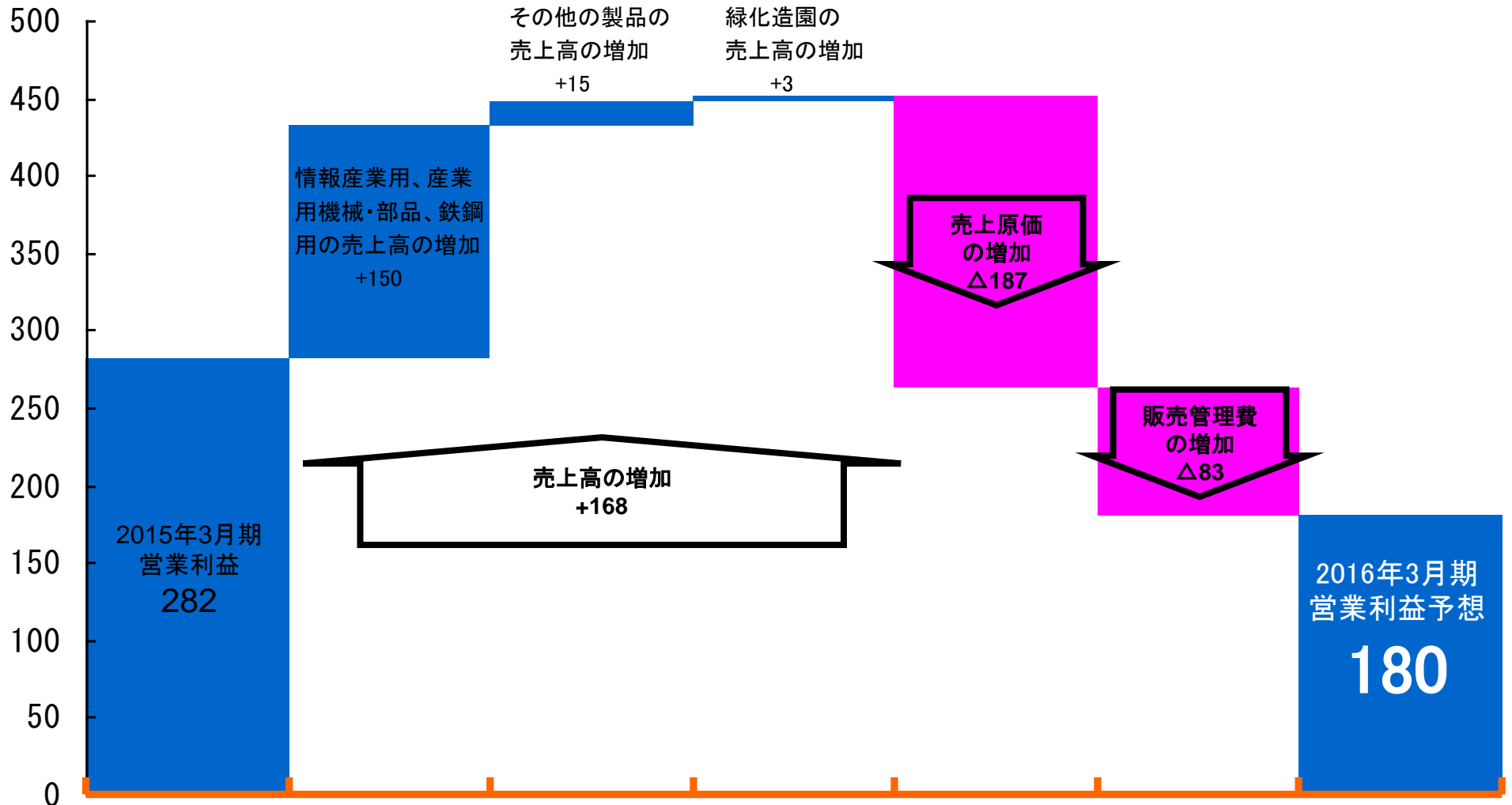
単位:百万円

	2015年3月期		2016年3月期 (予想)			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	4,464	91.1%	4,630	91.3%	165	3.7%
情報産業用	1,180	24.1%	1,224	24.1%	44	3.7%
鉄鋼用	734	15.0%	785	15.5%	51	6.9%
製紙パルプ用	504	10.3%	538	10.6%	34	6.7%
合板用	243	5.0%	210	4.1%	△33	△13.6%
製本用	55	1.1%	65	1.3%	10	18.2%
産業用機械・部品	951	19.4%	1,006	19.9%	55	5.8%
その他	797	16.3%	802	15.8%	4	0.5%
緑化造園	437	8.9%	440	8.7%	3	0.7%
合計	4,902	100.0%	5,070	100%	168	3.4%

- ✓鉄鋼用は高精度品の需要増に加え、石油・ガスパイプライン用鋼管関連製品の大口需要を取込む。
- ✓情報産業用の大口案件、差別化製品の需要増、産業用機械・部品の設備投資にともなう需要増を取込む。
- ✓緑化造園は、造園工事及び管理業務の重点指向を継続し、採算性の向上を図る。

# 2016年3月期 営業利益予想（増減要因）分析

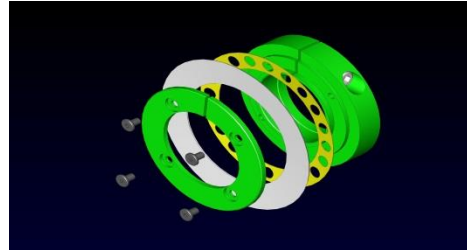
単位：百万円



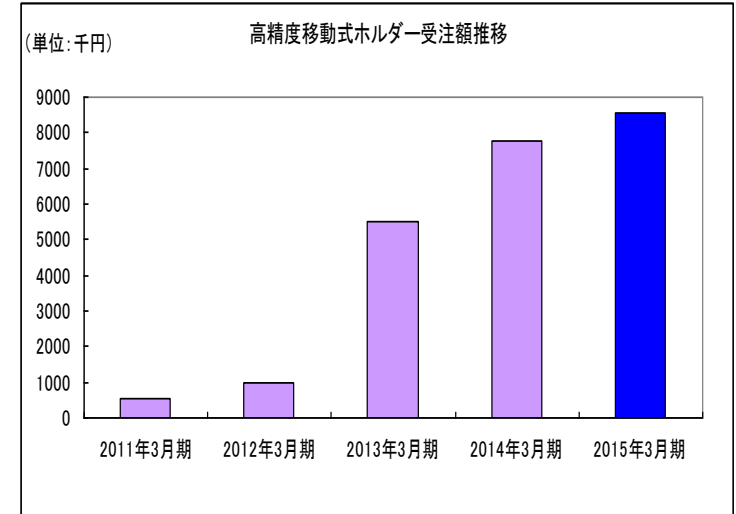
# 今期の重点施策 ①

## ☆情報産業用

- ①刃物単体のみならず、高精度移動式ホルダー、ユニットの需要を掘り起こし、シナジー効果による販売増を目指す。
- ②難切断化する被切断材の顧客ニーズに対応し、刃物品質+スリットテスト対応力の強みを活かした提案営業を強化する。



【スリットマシン組込例】

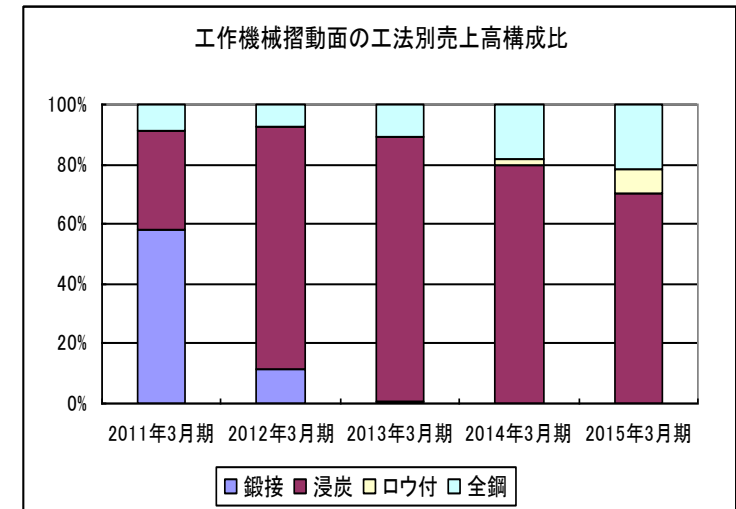


## ☆産業用機械・部品

- ①設備投資増を見込み、工作機械摺動面の拡販を三工法（浸炭・ロウ付・全鋼）別需要に応じ営業活動を展開する。
- ②好調な産業用機械精密部品の製造体制を維持し、生産確保を図る。
- ③高効率モーター搭載研磨機の需要に対応し、海外も含め拡販を目指す。



【工作機械摺動面（スライドウェイ）】





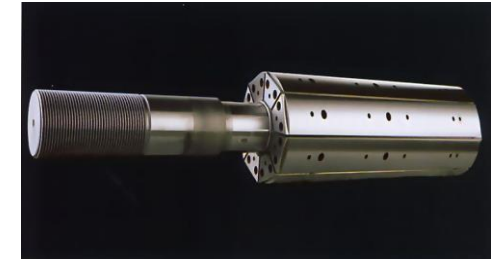
## 今期の重点施策 ②

### ☆鉄鋼用

- ①差別化製品の石油・ガスパイプライン用鋼管関連製品の受注・売上拡大を継続して図る。
- ②VA/VE提案を継続し、顧客の付加価値を高め売上増に繋げる。



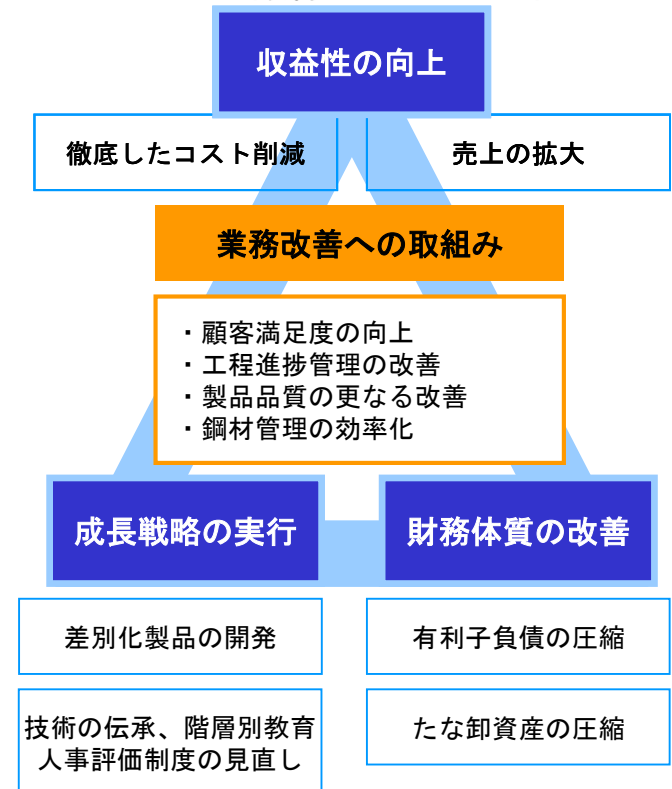
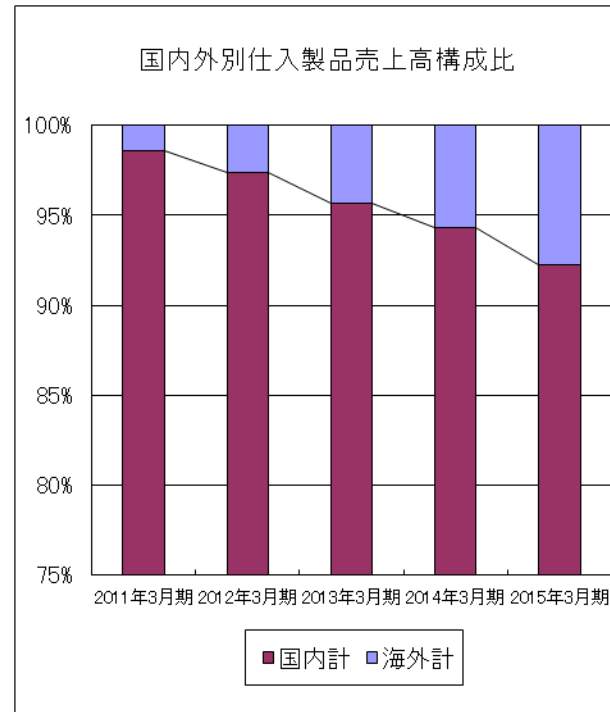
【鋼管関連製品】



## ライジング東洋プロジェクト2012

### ☆その他

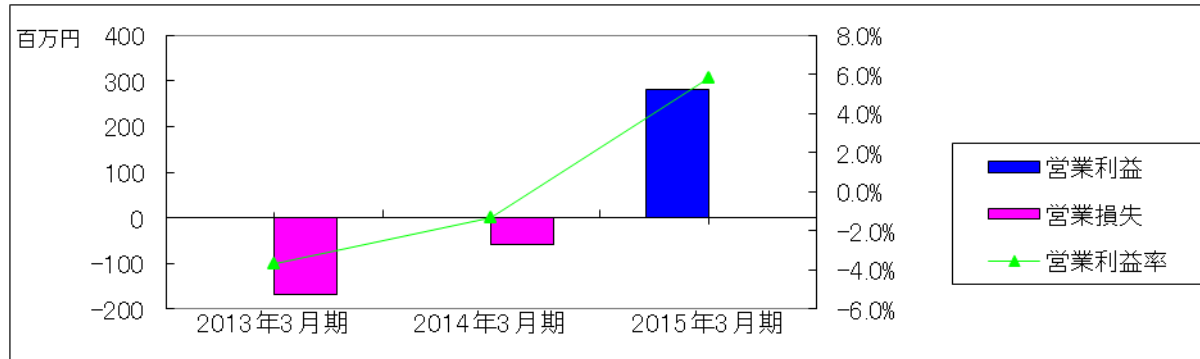
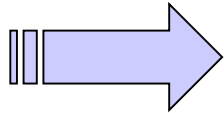
- ①当社ノウハウを活かした海外からの仕入品拡販に継続して取り組み、全体の売上増を図る。
- ②業務改善活動“ライジング東洋プロジェクト2012”の継続取り組みにより収益向上に繋げる。



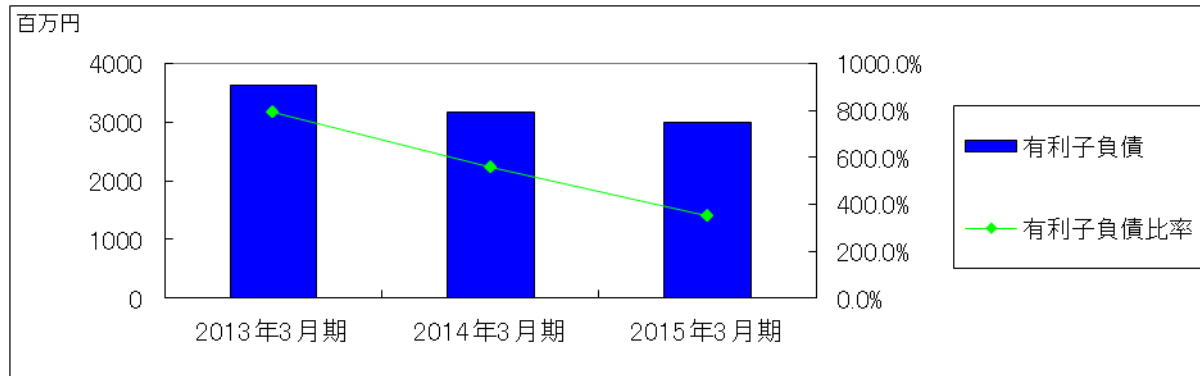
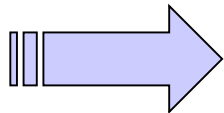
# ライジング東洋プロジェクト2012の進捗状況

## ★3つの柱

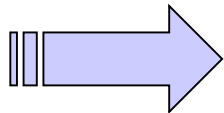
・収益性の改善 :



・財務体質の改善 :



・成長戦略の実行 :



### 差別化製品の開発と提案営業の強化

高精度移動式ホルダー



2014年みやぎ優れMONOに認定

ラボ用簡易スリッターユニット



## ご参考 当社について

# 会社概要

設 立	1925年8月9日
本社所在地	宮城県黒川郡富谷町富谷字日渡34番地11
代 表 者	代表取締役社長 高橋 允
事 業 内 容	情報産業用刃物、鉄鋼用刃物、製紙パルプ用刃物、製本用刃物、合板用刃物、その他の工業用機械刃物、産業用機械・部品の製造・販売及び緑化造園
主要取引先	新日鐵住金、JFEスチール、日立化成、日東電工、東レエンジニアリング、THK、三井精機工業
従 業 員	237人(正規従業員)
上場取引所	東京証券取引所(第二部)
発行済み株式数	10,000千株 ※2015年10月1日予定の株式併合後は1,000千株となります。
主 な 株 主	七十七銀行、常陽銀行、自社従業員持株会、みずほ信託銀行、仙台ビルディング、日本証券金融大同特殊鋼、仙台放送、日本高周波鋼業

2015年3月末現在

# 沿革

年 月	概 要
1925年8月	各種工業用刃物の国内生産を目的として、東京市麴町で設立（資本金30万円）。
1925年9月	仙台工場落成。
1937年5月	大阪に第二東洋刃物設立後、10月に吸収合併、大阪工場として稼働開始。
1947年7月	本社を仙台市米ヶ袋に移転。
1960年10月	多賀城工場（宮城県多賀城市）を新設。
1961年11月	東京証券取引所 市場第二部上場。
1961年11月	株式会社トオハ設立。
1967年11月	熱研工業株式会社設立。
1970年8月	富谷工場（宮城県黒川郡富谷町）を新設。
1973年7月	東洋緑化株式会社設立。
1976年12月	合併にて韓国に東洋鋼業株式会社を設立。
1977年9月	大阪・多賀城・富谷各工場の充実のため、仙台工場を売却。
1977年9月	本社を仙台市港四丁目に移転。
1978年3月	資本金を5億円に増資。
1997年4月	富谷工場を増設。
2004年1月	中国現地法人 上海東優刃物国際貿易有限公司設立。
2011年7月	東日本大震災により被災したため、本社を宮城県黒川郡富谷町に移転。
2012年2月	大阪工場を富谷工場へ移転。富谷工場の一事業所として多賀城工場の操業を一部再開（多賀城事業所）。

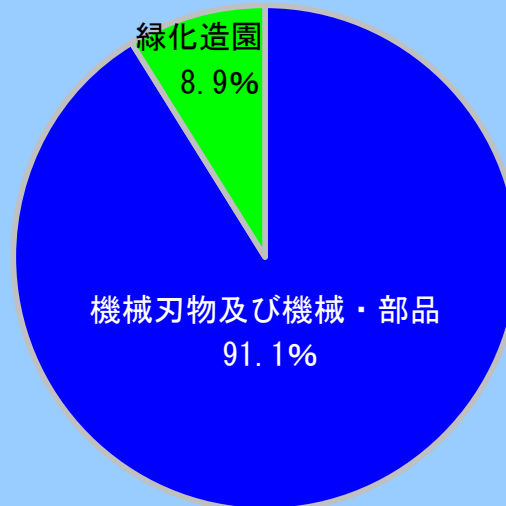
# 事業構成及び主要製品

国内機械刃物市場でトップクラスのシェア。

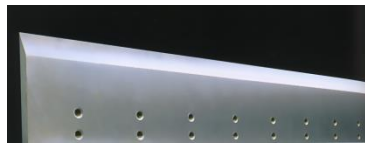
緑化造園



2015年3月期売上高  
4,902百万円



合板用刃物、製本用刃物、その他



ベニヤナイフ



チップーナイフ



ダイセット

製紙パルプ用刃物

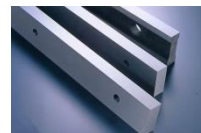


段ボールカッター



コアカッター

鉄鋼用刃物



シャープレード



コールドシャー



スクラップチョッパーナイフ



超硬サイドトリマーナイフ



メカニカルエキスパンドダイス

情報産業用刃物



スリッターナイフ  
(ゲーベルタイプ)



サラバネ



スリッティングユニット



高精度移動式ホルダー



コーティングダイ

産業用機械及び部品



刃付平面研削盤



スライドウェイ



刃付丸刃研削盤

# 当社グループの概要

東洋鋼業（株）  
 （持分法適用関連会社）  
 ✓韓国市場向け製造・販売

上海東優刃物国際貿易有限公司  
 （連結子会社）  
 ✓中国市場向け販売

クアラルンプール支店、シブ事務所  
 ✓東南アジア・オセアニア地域市場向け販売

## （国内）

東洋刃物株式会社（本社：宮城県富谷町）  
 ✓国内・海外市場向け工業用機械刃物の製造・販売、  
 産業用機械・部品の製造・販売

生産拠点	主要生産品
富谷	情報産業用・鉄鋼用・製紙パルプ用各種刃物、産業用機械・部品、その他
多賀城	産業用機械・部品、合板用刃物、その他

営業拠点	販売エリア
仙台	東北・北関東（一部）
東京	東京・関東・甲信越・静岡（一部） ・北海道・海外（米国、欧州、その他）
名古屋	東海・北陸・近畿（一部）
大阪	近畿・四国・中国（一部）
広島	中国・九州・四国（一部）

連結子会社	事業内容
（株）トオハ	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
熱研工業（株）	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
東洋緑化（株）	緑化造園工事

**本件に関するお問合せは、  
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。